

創立 1980年10月8日



# ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

## 第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3階302号

Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : [snrc@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:snrc@jasmine.ocn.ne.jp)

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 南海グリル 天兆閣別館 4階「ローズ」 Tel:(072)222-0131 番(代表)

ガバナー(第2640地区) : 福井 隆一郎

ガバナー事務所 URL : <http://rid2640g.com/fukui/>

E-mail : [fukui2016@wind.ocn.ne.jp](mailto:fukui2016@wind.ocn.ne.jp)

会長: 中田 学 幹事: 笹山悦夫 広報委員長: 坂田兼則 編集者: 池田茂雄

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

### 本日の例会

2016年9月23日(金)第1723回

卓話「江戸時代東大寺大仏再建物語」

卓話者 東大寺上院 院主 平岡昇修様

紹介者 那須 宗弘 会員

今週の歌「四つのテスト」「虫の声」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

### 次週の例会

2016年9月30日(金)第1724回

「ガバナー公式訪問」

2640地区ガバナー 福井隆一郎様

### 前回の例会

2016年9月9日(金)第1722回

卓話「ロータリー今、昔」

卓話者 宇瀬 治夫 会員

今週の歌「四つのテスト」「ふじの山」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○皆出席表彰(9月度)

坂田兼則会員(第10回)

<9月23日(金)の出席報告>

会員数	32名
出席会員	21名
欠席会員	11名
ゲスト	0名
ビクター	0名
9月2日(金)の出席率	93.75%



人類に  
奉仕する  
ロータリー

2016-17年度 国際ロータリーのテーマ

「人類に奉仕するロータリー」

国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム(米国・チャタヌーガRC)

## 卓話の時間

「ロータリークラブ今・昔」

会員 宇瀬治夫



この10年間で日本では60のクラブが消滅しました。これはクラブの活性化が正常に営まれていないことを意味するのです。

そこで、今日はロータリー活動の原点ともいえるクラブ奉仕の原点と現況について考えてみたいと思います。

尚この原稿はR I会長歴任された国際ロータリークラブ2680地区田中毅様の著書にもとづくものですが、私の性格上時々脱線いたしますので宜しくお願いいたします。

「世界は絶えず変化しています。そして私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません。ロータリー物語は何度も書き替えられなければならないでしょう。」

「ロータリーがその適正な運命を理解するとしたら、ロータリーは必ず進歩しなければなりません。時には革命が起こる必要があります。」

これは、ポール・ハリスが残した有名な言葉です。この言葉を例に出して、ロータリーは変わらなければならないことを力説する人も多いようですが、ロータリーにおいて、

「変えなければならないもの」と「変えてはならないもの」をはっきり分類しておく必要があります。

まず、絶対に変えてはならないものは「ロータリーの哲学」すなわち「ロータリーの奉仕理念」です。ロータリーの哲学を変えれば、それはロータリーではなくなるからです。

「決議23-34」には、「この哲学は **Service above Self** の奉仕の哲学であり、**He profits most who serves vest** という実践倫理に基づくものである。」と明記されています。すなわち、ロータリーの奉仕哲学は、**He profits most who serves vest** と **Service Above Self** の二つのモットーであり、この二つのモットーはどんなことがあっても絶対に変えてはならない奉仕理念なのです。

日本のロータリアンがこぞって、「決議23-34」の存続を望むのも、これがロータリーの哲学を規定する唯一のドキュメントだからです。

**He profits most who serves best** は皆様ご承知の通り、シカゴ・ロータリークラブ会員のアーサー・フレデリック・シェルドンが提唱した奉仕理念です。

**He profits most who serves best** というモットーは、シェルドンがロータリーのために作ったと信じている方も多いと思いますが、それは間違いで、このフレーズが最初に使われたのは1902年に発行された **Successful Selling** というシェルドン・スクールの教科書であり、経営学のモットーとして作られたものを、ロータリーが借用していることになります。

当時の時代背景として、20世紀初頭、すなわちロータリーが創立された当時は、資本主義の矛盾が噴出した時期であり、醜い資本家の欲望が労働者を搾取した時代でもありました。

いかに安い賃金で労働者を雇うかが利潤を増やす鍵となり、そこが労働者の貧困、失業など問題や、無秩序な自由競争による経済恐慌などの大きな社会矛盾を生む原因になりました。

親睦を目的としてロータリーは出発しましたが、せっかく一人一業種でたくさんの仲間が集まったのだから、お互いの商売を利用して金儲けにそれを利用したらどうかという、さみしい発想が浮かんできました。すなわち物質的相互扶助という考え方が起こってきたのです。

1906年1月に制定された最初のシカゴ・ロータリークラブの定款には、第1節・会員の事業上の利益の促進、第2節・会員同士の良き親睦と明記されており、当初のシカゴクラブには奉仕の概念はなく、事業の繁栄と親睦を目的にして創立されたことが分かります。

会員同士の互惠取引が積極的に行われ、堅固で自己中心的な物質的相互扶助(互惠主義)のグループを作っていました。自らが搔けない自分の背中を、お互いが車座になって掻き合おうという、バックスクラッチングというエゴイズムで、ロータリーは出発したのです。

1908年にシカゴクラブに入会したアーサー・フレデリック・シェルドンは、こういった互惠取引を禁止する代わりに、当時誰もが考えつかなかった奉仕理念をロータリーに提唱しました。ロータリーがこれを採択して、物質的相互扶助から決別したことによって、その後華々しい発展を遂げることになったのです。

シェルドンの職業奉仕理念は、継続的な事業の発展を得るためには、自分の儲けを優先するのではなく自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営む、すなわち会社経営を経営学の実践だととらえて、原理原則に基づいた企業経営をすべきだと考えました。さらに良好な労働環境を提供するのは資本家の責務であると考え、資本家が利益を独占するのではなくて、従業員や取引に関係する人たちと適正に再配分することが継続的に利益を得る方法だと考えたのです。すなわち当時からすれば、来るべき修正資本主義を先取りした彼の考え方は極めて斬新なものであったと言えます。

20世紀初頭の資本主義のもたらす社会矛盾を、資本主義の大枠の中で和らげたり、克服するために考えられたのが修正資本主義です。

政府が公共事業などで失業者を減らしたり、法律で公害や悪い環境をもたらす資本の活動などを規制したり、従業員の福利厚生を図ったりして、これらの矛盾を和らげていこうという考え方で、職業奉仕を倫理高揚運動と説く人がいますが、これも大きな間違いで、職業奉仕とは科学的かつ合理的な企業経営方法のことであり、シェルドンの職業奉仕理念に則った企業経営は顧客の満足度を最優先した方法であり、そのような事業経営をする事業所は、当然のことながら高い職業倫理を備えた事業所であるという結果が現れます。しかしそれは職業奉仕を実践した結果に過ぎず、この運動の出発点は職業倫理高揚を目的とした活動ではありません。変えてはならないものがある一方で、変えなければならないものもあります。奉仕活動はロータリアンの思いつきで選択をすべきではなく、社会のニーズに従って実践する必要があります。産業構造の変化、需要供給のバランスの変化などの様々な要素によって、地域社会のニーズは変化していきます。その変化に伴って奉仕活動の実践も変化していかなければならないのです。現在、ロータリークラブはその変革の真最中だと考えております。

## 会長の時間

会長 中田 学



プロ野球界の最近の明るい話題といえはカープ女子である。「女子」は地元の広島はもちろん首都圏で急増し、チームカラーの赤で球場が染まる。

やれ野球のルールも知らない、応援マナーがなっていない、と眉をひそめる向きもあるが、とにかく元気にあふれている。

広島でオールドファンに聞けばこう答える。「カープはあの日からずっとわたらの希望だったんじゃないか。」あの日とはもちろん8月6日のことだ。

万年Bクラス、遠征のお金にさえ事欠く。そんな貧乏球団を球場の入り口に置いた酒樽に募金を投げ市民が育ててきた。苦闘の歴史を知ってほしいとの思いは強い。

だがなにより、カープの原点にある広島の被爆体験そのものの風化が進んでいる。被爆者の高齢化にともない、8月6日が何の日なのかさえ知らない若者が増えているのが現実だ。

その一方で本や映画や漫画でヒロシマに触れ、被爆者の思いを次世代に伝えたいと自ら行動を起こす若い人たちの取り組みも着実に広がっている。

被爆者の孫世代による企画展が開かれると聞いて、横浜市の会場を訪ねた。手作りのパネルの前で、大学生らが来場者に話しかけている。

活動の中心となったウェブクリエイター、久保涼子さんは「20代、30代の私たちだからこそできることがある」と話す。カープ女子の中からも、いずれ語り部女子が生まれるはずだ。



## 委員会報告

北輪会

「ゴルフ同好会報告」

代表世話人 塩見 守



平成28年9月10日(土)天野山カントリークラブにて、第87回北輪会を開催いたしました。当日はこの週で一番の素晴らしい天候に恵まれまして、皆様、ゴルフを通じての親睦とロータリーへの理解を深めて頂けたと思います。

参加人数は堺清陵RCから4名の方が初参加して下さいまして、ゲスト7名、会員家族3名、会員14名の総勢28名もの方が優勝を目指して頑張ってくださいました。たくさんの方々にご参加を頂きましたので、大変盛り上がった北輪会になりましたことに感謝致しております。又、ゴルフに参加できない中で、朝の受け付け・案内と会食の段取

り・集計等にのみお手伝い下さいました、藤永会員と池永会員には特に感謝、感謝しております。

結果は次の通りです。

優勝 北畑 瑞徳様

準優勝 南埜 貴史会員

3位 牧野 信夫様

ベスグロ 南埜 貴史会員 (87)

ゴルフ場での集計で優勝は南埜会員でしたが、参加が2回目でハンデイが決まっていま

せんでしたので、北畑様の繰り上げ優勝となりました。  
南埜会員には次回頑張ってもらいたいと思います。



## S A A 報告

中田 学会員 明日の北輪会優勝するぞ！気持ちだけ。

嶽盛和三会員 ニコニコ参加します。SAA さん御苦労様です。

合計 7,000円

## 幹事報告

(1) 配布物 週報

(2) 幹事報告

・次週 16 日の例会は休会です。

・30 日の例会は、ガバナー公式訪問です。

(3) 他クラブ例会変更のお知らせ

高石ロータリークラブ 10月11日(火)→休会



今週の歌「虫の声」

あれ松虫が 鳴いている ちんちろ ちんちろ ちんちろりん  
あれ鈴虫も 鳴き出した りんりんりんりん りいんりん  
秋の夜長を 鳴き通す ああおもしろい 虫のこえ